やいづ市男女共同参画情報紙

あっ！おかぜ 71号

発行日　令和８年 11 月１日
編　集　男女共同参画情報紙編集スタッフ
（大畑由香・小林綾・長嶋真理子）
発　行　焼津市　市民環境部　協働推進課
（〒 425-8502　焼津市本町 2-16-32）
☎ 054-626-1178
✉ kyodo@city.yaizu.lg.jp

©かわいさちこ

男女共同参画社会とは、**世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会**です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政や市民、企業、団体などが互いに知り、学び、考え、共に社会をつくって動かしていきましょう。

～女子相撲の歩み～

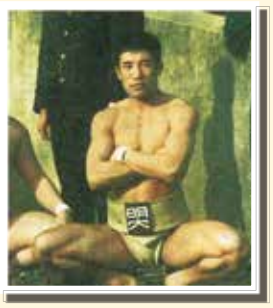
大正時代から本格的に始まった焼津の相撲は、漁業の発展とともに歩んできました。海の男たちの活躍により、焼津では相撲熱が高まり、焼津の町内会いたるところに土俵が作られ、青年力士たちは日々相撲に打ち込んでいたようです。

平成に入ってから女子の相撲が盛んになり、今では多くの女性が活躍しています。

今回は、焼津の相撲を年表でたどり、指導者や女性選手の声を通して、女子相撲の歩みと男女共同参画について考えてみましょう。

焼津市の相撲年表

大正8年	焼津好角会が発足（焼津の相撲の礎が築かれる）
大正9年	**下村嘉一**が青年団に入り相撲を始める（この頃の稽古は夜 11 時頃まで行うほど賑やかだった。）
昭和6年	焼津から初の大相撲力士が誕生（**凌浪**）
昭和8年	下村嘉一によって「弘武館」が設立される（青年力士たちは夏には相撲、冬には柔道の練習に励むようになった。）
昭和10年	日本相撲協会から焼津好角会に優勝旗が寄贈される
昭和23年	静岡県相撲連盟を設立



昭和 39 年 明大４年の下村勝彦

～昭和 20 年代は焼津水産高校、焼津中学校を中心に相撲が復活し、様々な大会で優勝～

昭和39年	東京オリンピック選手団招待の武道デモンストレーションで**下村勝彦**が選抜され、模範演技を行う

～昭和 40 年代から 50 年代には焼津から全国大会で活躍する選手が続々と出てくる～

昭和51年	第１回焼津市長杯・市民相撲大会が開催される
昭和53年	全国に先駆けて静岡県少年相撲大会が開催される
昭和56年	市営相撲場が完成
昭和60年	やいづ少年相撲クラブを設立
平成4年	大相撲焼津場所が開催される



わんぱく相撲焼津場所

平成8年	日本新相撲（女子）連盟が設立され、焼津から３名の女性が全国に先駆けてデモンストレーションに参加
平成9年	第１回静岡県新相撲（女子）選手権が開催され、18 名の女性が競技に参加
平成20年	全日本女子相撲選手権大会が焼津で開催され、**松浦麻乃・みな美**姉妹が優勝

～平成 20 年代から焼津の女子選手が全国、アジア、世界で活躍するようになる～

平成30年	焼津港中学校が全国都道県中学生相撲選手権で団体優勝、個人でも**吉井虹（現：時不動）**が優勝
令和4年	焼津市の地域クラブ活動がスタート、「やいづ相撲クラブ」が新設される

※設立当初、女子の相撲は新相撲と呼ばれていました